

令和六年

松香 Komunikado

令和六年三月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは松香分苑の令和六年三月度の月次祭を、すがすがしく齋行させて頂きました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。始めに、正月元旦に能登半島に大地震が発生しましたが、現在も国内の他の地域で地震が多発して居ります。これは他人ごとではございませんので、再度防災対策を見直ししましょう。地震が夜中におきますと、停電になり、真つ暗の中での避難が必要になります。近くの窓やドアまでの避難ルートの確保が大切です。私も夜中に、外の猫の争い？の鳴き声におきて、窓までいこうとした際に、椅子に足の指が当たりけがをしました。地震となると周りのものが散乱しますので、ますます歩きにくく

三月十日発行

第三百十二号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

なります。私も寝室にある本箱を他の部屋に移動しました。更に寝室内の整理整頓を実施していく予定です。皆様ももう一度見直しをしましょう。

先日三月二日三日に、静岡分苑主催の第二十六回東海サミットが開かれました、松香からは、藤田恵美子様、小林善直様、塚田正樹様と私の四名が参加しました。

私のグループは、おからす神社の歌碑建立と皆神山の祭典の話が中心でした。おからす神社の祭神は、稚姫君命さまで、開祖様のご神霊です。

「ワカヒメギミノミコト」は出口なお開祖の御神霊で、国常立尊直系の分霊で社初の告訴神政時代にご活躍され、その後、三十五万年前の太古に「初稚姫」として丹波国に生誕し三五教の宣伝紙として活躍します。そして、天保七年（二八三七）に出口なお開祖として生誕し、大本を開教しました。

そのおからす神社に、昨年の中遷座祭に、おからす神社のご依頼で教主様が参拝され、又、大本との交友を示す歌碑の建立をご要望され、歌碑の建立が教主様のお許しを得て進められています。歌碑の石は重さ六トンのもある大きなものがほぼ決まっており、ここに教主様のご染筆が刻まれます。また合わせて、聖師様の耀碗とおからす神社のお土と聖地のお土で教主様が作陶されるお茶碗が、おからす神社に献納されます。奉納されますとお宝ものは、見ることはできません。このお作品が除幕式当日の十三時から十六時の間、公開陳列をしていただくことになりました。この時しか見ることはできませんので、関心のある方はご参拝ください。また三月三十一日の二代様の年祭の日に窯だしが行われます。おからす神社と大本の友好の歌碑が建立されますと、いよいよ綾機平に、綾機神社の建立が進むものと思います。尚、長生殿前の昨年入手した土地は、先日教主様が「綾機平」とご命名されました。

また、以上の内容は、四月の松香の大祭で、前田特派宣伝使様よりご講話頂くことになっております。歌碑建立に対しての皆様方のご献金も、七月締め切りでお願いしたいとのことでしたので、四月の大祭でよくその意義を理解していただき、少しでも結構ですので、全員が献金させていただき、この大きな御神業に参加させていただきたく思います。

その他連絡事項

- ① 令和六年三月三十一日
静岡分苑・観桜茶会 十時から大祭、午後茶会
 - ② 令和六年六月十六日
皆神山・三代教主様平和祈願七十周年記念祭典。
教主様ご臨席
六月十五日には松代荘にて夕食会。
祭官一名松香から奉仕の依頼来ております。
 - ③ おからす神社歌碑除幕式
令和六年十月十八日 十一時から
- ①の参加ご希望者は、三月二十日頃までに、②の参加ご希望者は、は四月末までに山本まで連絡下さい。

Koran dankon